

亶理町立郷土資料館年報

第23号
(令和2年度)



悠里館全景

亶理町立郷土資料館

宮城県亶理郡亶理町字西郷 140 番地
電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709
E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp

はじめに

平成6年10月に開館した亘理町立郷土資料館は、令和2年度で26周年を迎えました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の国内初感染者が令和2年1月に見つかり、現在でも全世界的に流行しており、その拡大防止として施設の臨時休館及びイベントの自粛、館内の入場者数制限等せざるを得ない状況でした。施設の運営を継続して行うことが大変難しい1年となりました。

そのような中、施設を運営する側としては、いかに来館者の不安要素を取り除き、安全安心な場を提供できるかということにスタッフ一同心を配り、サーマルカメラでの検温、マスクの着用確認、手指消毒、ヘルスチェックシートの導入、展示室内の一方通行化など感染症対策を行い、令和2年度の運営を行ってまいりました。

平成29年度の寄贈資料を公開する「収蔵資料展」は時期を2か月ほど延期して開催し、特別展示として、過去の疫病についても書き記されている資料を公開し、多くの反響がありました。

町内の小学6年生を対象とした「文化財めぐり」の事業では、郷土資料館を見学していただく行程から学校の教室において映像やスライドによる学習に変更して実施しました。

10月には郷土資料館町民講座の「ものしり大学院」を開催しました。NHKテレビ番組の案内役で人気を博した木村浩二様に講師を依頼し、コロナ禍ということで会場収容人数の半分に定員を定め、初の事前申込制で実施しましたが、定員に迫る、多くの方々に聴講いただきました。

郷土資料館では、亘理町の歴史や受け継がれてきた人々の暮らしぶりを後世に伝えるため、なお一層、資料の収集や調査・研究を重ねていきたいと思っております。また、その成果をより多くの方々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んでいきたいと考えております。今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和2年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

令和3年7月

亘理町立郷土資料館

館長 齋藤 伸

目 次

| | | |
|---|-----------------|----|
| 1 | 令和2年度の主な事業と活動 | 1 |
| 2 | 組織・運営 | |
| | 〔1〕 組織図・職員構成 | 2 |
| | 〔2〕 事務分掌 | 2 |
| 3 | 展示 | |
| | 〔1〕 常設展示 | 3 |
| | 〔2〕 テーマ展示 | 3 |
| | 〔3〕 収蔵資料展示 | 4 |
| 4 | 教育・普及 | |
| | 〔1〕 講座等 | 5 |
| | 〔2〕 学社融合推進事業 | 6 |
| | 〔3〕 オープンミュージアム | 7 |
| | 〔4〕 学校教育関連 | 8 |
| | 〔5〕 刊行物等 | 8 |
| | 〔6〕 博物館実習 | 8 |
| | 〔7〕 その他 | 9 |
| 5 | 資料の収集・保管 | |
| | 〔1〕 収蔵資料 | 9 |
| | 〔2〕 寄託資料 | 10 |
| | 〔3〕 常設展示借用資料 | 10 |
| | 〔4〕 資料貸出 | 11 |
| 6 | 観覧者数の推移 | |
| | 〔1〕 令和2年度月別観覧者数 | 12 |
| | 〔2〕 年度別観覧者数 | 12 |
| 7 | 予算 | 13 |
| 8 | 職員名簿 | 13 |
| 9 | 利用案内 | 13 |

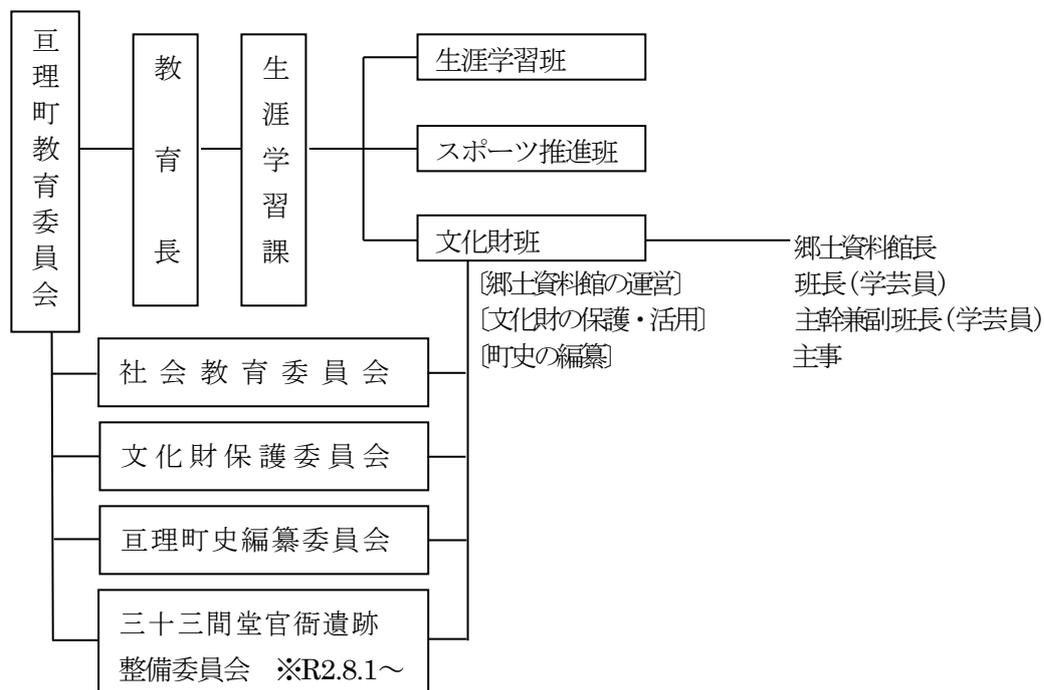
1 令和2年度の主な事業と活動

- R 2. 3/3 ～ 5/31 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
4 広報紙「郷土しりょうかん」第152号発行
5/2 ～ 5/6 ゴールデンウィーク特別開館事業※中止
6/20～ 8/23 第23回収蔵資料展
5/22 宮城県南資料館等連絡協議会総会(書面開催)
6/26 宮城県博物館等連絡協議会総会(書面開催)
7 広報紙「郷土しりょうかん」第153号発行
7/21～ 8/23 夏休みちよこつと体験※中止
7/18～ 8/30 夏のテーマ展(仮称)「オリンピック」※中止
8/14～19 博物館実務実習
8/16 「伊達成実霊屋」御開帳
8/22 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」※中止
10 広報紙「郷土しりょうかん」第154号発行
10/3 ～11/22 秋のテーマ展「亙理伊達家の紋様—館蔵資料を中心に—」
10/25 郷土資料館町民講座『ものしり大学院』
「古代遺跡の整備と新しいまちづくり—三十三間堂から未来の亙理へ—」
10/29 宮城県博物館等連絡協議会第1回研修会(多賀城市)
11/2 宮城県南資料館等連絡協議会第1回役員会(書面開催)
11/3 文化の日特別開館「オープンミュージアム」
11/10 学社融合推進事業「亙理用水学習会」学芸員派遣(亙理小学校)
11/12 学社融合推進事業「亙理用水学習会」学芸員派遣(逢隈小学校)
3. 1 広報紙「郷土しりょうかん」第155号発行
1/16 「伊達成実霊屋」御開帳
2/2 ～ 3 年中行事講座「お雛様づくり体験会！」(亙理町シルバー人材センター共催)
2/18～ 3/18 「コロナ退散！つるし雛展と亙理伊達家雛人形公開」
2/19 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(高屋小学校)
2/27～ 3/25 東日本大震災写真展「3.11あの日を忘れない、あの日を伝える」
3/12 宮城県博物館等連絡協議会第2回研修会(多賀城市)
3/19 宮城県南資料館等連絡協議会担当者研修会・第2回役員会(山元町)
3/13/22～23 年中行事講座「鯉飾りづくり体験会！」(亙理町シルバー人材センター共催)

2 組織・運営

〔1〕 組織図・職員構成

令和2年4月1日現在

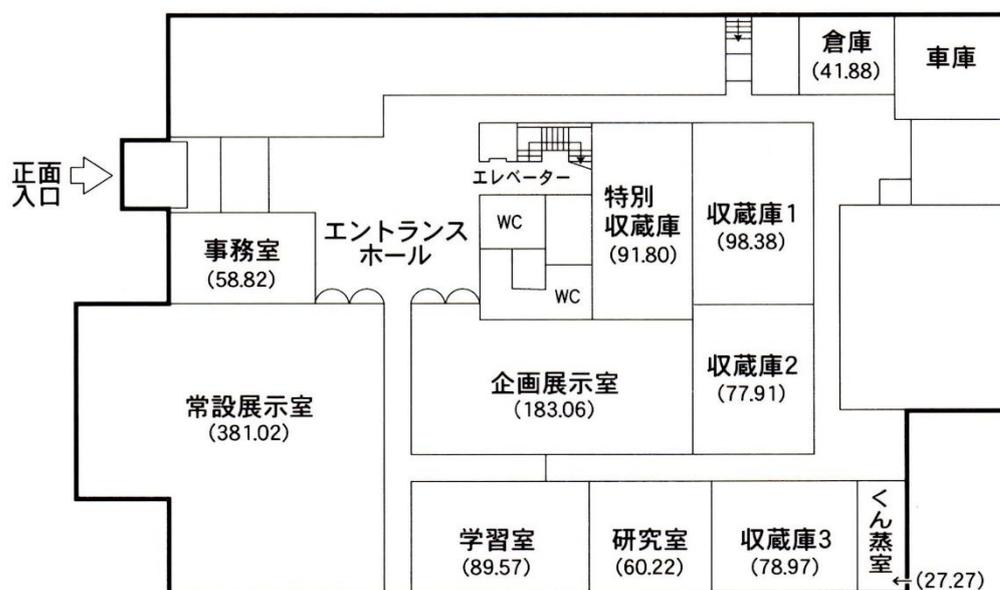


〔2〕 事務分掌

文化財班(郷土資料館)

……………管理運営・公印管理・文書の收受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営

資料館平面図



※ () 内は面積、単位は㎡

3 展 示

〔1〕 常設展示

亙理伊達家雛人形公開・コロナ退散つるし雛展・手作り雛ミニ展示

期 間 令和3年2月18日(木)～3月18日(木)
開館日数 23日
会 場 常設展示室、悠里館1・2階エントランスホール
観覧者数 595人(常設展示のみ的人数)

【展示内容】

- ◎常設展示室(入口・亙理伊達家コーナー)
4本輪飾り4本、石川家伝来亙理伊達家古今雛一对・婚礼調度品6点
- ◎悠里館1階エントランスホール(悠里館出入口)
3本輪飾り4本(つるし雛作り体験!教室作製)
手作り雛7組(織縹会那智が丘すみれ作製)
- ◎悠里館2階エントランスホール(カフェ♡悠里前等)
傘福5本(織縹会那智が丘すみれ)
7本輪飾り22本(布あそびサークルはまなす・織縹会那智が丘すみれ作製)



▲つるし雛展 傘福と7本輪飾り

〔2〕 テーマ展示

夏のテーマ展(仮称)「オリンピック」

期 間 令和2年7月18日(土)～8月30日(日)
※新型コロナウイルス感染症対策及び東京2020オリンピック競技大会開催延期により中止

秋のテーマ展「亙理伊達家の紋様—館蔵資料を中心に—」

期 間 令和2年10月3日(土)～11月22日(日)
開館日数 43日
会 場 企画展示室
観覧者数 1,066人 1日平均25人

【趣 旨】

郷土資料館では「亙理伊達家の資料」を重点的に収集している。今回は「亙理伊達家の紋様」として、亙理伊達家の家紋と願いを込めた吉祥文様があしらわれた資料39点を展示した。

大きく3つのコーナーに分けて展示を行い、一般初公開となる資料を2点公開した。

【展示内容】

- ◎「家紋のあしらわれた着用品」コーナー
展示物…行儀小紋竹に雀紋袴(長袴、平袴)、竹に雀三引両紋弓台(鹿島天足和気神社所蔵・一般初公開)
卍雷繫文様竹に雀紋鞍(鹿島天足和気神社所蔵・一般初公開)ほか
- ◎「家紋のあしらわれた日用品」コーナー
展示物…三引両紋道中湯沸、松竹梅輪文様竹に雀蟹牡丹三引両紋提重、竹に雀紋膳・椀ほか



▲秋のテーマ展 弓台と鞍(一般初公開)

◎「吉祥文様のあしらわれた品々」コーナー

展示物…唐花文様筥迫、橘文様夜着、唐草尾長鶏太鼓文様硯箱ほか

東日本大震災写真展「3.11あの日を忘れない、あの日を伝える」

期 間 令和3年2月27日(土)～3月25日(木)

開館日数 22日

会 場 企画展示室

観覧者数 613人 1日平均28人

【趣 旨】

東日本大震災の発生から10年を迎え、復興が目覚ましく進む一方で、震災時の経験や記憶がない子供達も増えるなど震災の記憶が風化しているのは否めない状況である。そこで震災を知らない世代や経験のない人々に、津波の恐ろしさと被害、これまでの復興の歩みなど歴史的事実を写真をとおして伝え、災害への備え、命を守る行動について考える機会とした。

【展示内容】

◎「東日本大震災」コーナー

展示物…地震で倒壊した塀、地震による液状化現象、阿武隈を遡る津波ほか

◎「亙理町の被害」コーナー

展示物…浸水区域と津波規模、津波による被害の状況ほか

◎「復旧と復興」コーナー

展示物…亙理中学校避難所、亙理町合同追悼式、災害ボランティア、亙理領主伊達氏歴代墓所復旧ほか

◎「3.11を伝える」コーナー

展示物…震災伝承施設、鎮魂の杜、震災語り部の会“ワッター”ほか



▲写真展観覧の様子

〔3〕 収蔵資料展示

「第23回収蔵資料展」

期 間 令和2年6月20日(土)～8月23日(日)

開館日数 52日

場 所 企画展示室

観覧者数 707人 1日平均14人

【趣 旨】

郷土資料館開館以前から教育委員会で収集していた郷土資料に加え、開館以後も継続して資料収集を行っているため収蔵資料は充実してきており、亙理の歴史や文化を考える上で重要な資料でありながら、展示テーマやスペースの制限上、公開される機会のない資料が増加した。このため、これらを平成8年度から年度ごとに順次展示公開し、今回で23回目となる。今展示は、新型コロナウイルスの収束が見通せない状況下の開催となり、過去に世界的に流行したスペイン風邪などの疫病について書き記されている「近世早見年代記(清野日記)」も展示した。



▲特別展示 近世早見年代記(清野日記)

【展示内容】

平成29年度に寄贈を受けた資料を分類項目ごとに展示した。総展示数は102点。

| 項目 | 点数 | 項目 | 点数 | 項目 | 点数 |
|----------|----|-------|----|-------------|----|
| 衣・食・住 | 10 | 人の一生 | 14 | 文書・書籍・地図 | 6 |
| 交通・運輸・通信 | 2 | 年中行事 | 1 | 亙理伊達家・家中 | 1 |
| 民俗知識 | 25 | 交易 | 2 | 美術 | 11 |
| 競技・娯楽・遊戯 | 24 | 軍事・戦争 | 1 | 特別展示「疫病と亙理」 | 5 |

〔4〕 その他

令和元年度に行った常設展示室照明のLED化工事に続き、令和2年11月25日から企画展示室のLED化工事を行った。環境対策や展示内容に合わせた細かい調光が可能となった。

4 教育・普及

〔1〕 講座等

1. 年中行事講座「お雛様づくり体験会！」

(公社)亙理町シルバー人材センターとの共催により、古布を使って世界に一つだけのお雛様づくりをとおして日常生活ではなかなか味わうことが難しかった潤いとやすらぎのある暮らしや年中行事の意味を知ることが目的に行った。

日時 令和3年2月2日(火)～2月3日(水)

午前10時～午後2時30分

講師 織継会 那智が丘「すみれ」

代表 伊藤 かをる 氏 外2名

場所 郷土資料館 学習室

受講者 20人(10人×2日)

材料費 1,500円

内容 ひなまつりについての講話後、古布で雛人形を製作した。



▲真剣に「おひなさま」を作る受講生

2. 年中行事講座「鯉飾りづくり体験会！」

「お雛様づくり体験会！」同様に(公社)亙理町シルバー人材センターとの共催により開催した。古布を使って世界に一つだけの鯉飾りづくりを製作し、受講生同士の親睦を図るとともに年中行事の意味を知ることが目的に行った。

日時 令和3年3月23日(火)～3月24日(水)

午前10時～午後2時30分

講師 織継会 那智が丘「すみれ」

代表 伊藤 かをる 氏 外2名

場所 郷土資料館 学習室

受講者 28人(14人×2日)

材料費 1,500円

内容 端午の節供についての講話後、古布で鯉飾りを製作した。



▲一つ一つ模様が違う鯉飾り

3. 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」

平成15年度より開始したこの事業は、毎回100人前後の聴講者のある人気の講座になっている。これまで「郷土の歴史」に着目し、さまざまな分野の講師を招いてきた。

今回は町内逢隈の史跡「三十三間堂官衙遺跡」をテーマに講演会を行った。

テーマ 「古代遺跡の整備と新しいまちづくりー三十三間堂から未来の亙理へー」

日時 令和2年10月25日(日) 午後1時30分～3時30分

会場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)

講師 木村 浩二 氏(ブラキムラ事務所 一般社団法人ジモトアーカイブせんだい理事)

聴講者 58人(事前申込制・定員60人)※感染症対策として、人数制限、申込制とした。

内容

陸奥国の様相、亙理郡と郡衙遺跡、史跡の整備、史跡の活用の大きく4つで構成され、木村講師がこれまで携わってきた先進地の史跡整備の具体例が盛り込まれ、史跡整備を活かした未来のまちづくりについて考える機会とした。NHK「ブラタモリ」仙台編の案内役をはじめ、宮城学院女子大学非常勤講師、NHK文化センター講師など幅広く活動されている木村さんの講話に聞き入る熱心な参加者の姿が見られた。



▲ものしり大学院 講演の様子

〔2〕 学社融合推進事業

平成12年度から行っている事業で、町内小学生を対象に職員が学校に出向くなどして、総合学習や社会科の中で亙理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料にふれ、使用する体験によって、より一層の学習効果を上げながら収蔵資料の有効活用を図っている。

1. 出前講座「移動しりょうかん」

「昔の道具とくらし」

実施校：高屋小学校(家庭科室)

実施日時：令和3年2月19日(金)

午前10時35分～11時20分

参加人数：6人(3年生)

内容：「炭火アイロンがけ」

「天秤棒を使った桶担ぎ」

「洗濯板を使った洗濯」

などを体験した。



▲炭火アイロンと洗濯板を体験する児童

2. 学芸員の派遣

社会科「亙理用水」に関する学習会

実施校：2校(6クラス)

参加人数：198人



▲亙理用水学習会の様子(逢隈小学校)

| 実施校 | 月 日 | 時 間 | 場 所 | 参加人数 | 内 容 |
|------------------------|--------------|-----------------|--------------|------|---|
| 亶理小学校 4年生 (3クラス) | 11/10 (火) | 10:30 ～12:00 | 亶理小学校 体育館 | 96 | ・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土背負箱)など用水を作ったときの道具やジャバラなど農作業の道具を展示した。 |
| 逢隈小学校 4年生 (3クラス) | 11/12 (木) | 10:30 ～12:00 | 逢隈小学校 体育館 | 102 | ・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦勞を推察させた。 |

3. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

◎逢隈小学校：民具室(平成15年8月リニューアル)の継続

◎荒浜小学校：民俗資料室(平成15年9月新設、平成26年9月1日再開)の継続

〔3〕 「オープンミュージアム」

亶理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、昔のおもちゃなどを体験するコーナーを設けたほか、クイズの正解者にはオリジナル缶バッジをプレゼントした。また、郷土芸能上映会として牛袋法印神楽、亶理杵取りの映像をエントランスホールで上映した。

日 時 令和2年11月3日(火・文化の日) 午前9時～午後4時30分

場 所 郷土資料館(常設・企画展示室、学習室、エントランスホール)

観覧者数 常設展示…53人 企画展示…53人

内 容

◎郷土芸能上映会

1階エントランスホールにおいて、亶理町指定無形民俗文化財の「牛袋法印神楽」と「亶理杵取り舞」のDVD及びVHSを上映した。

◎クイズチャレンジ

常設展示室の内容のクイズにチャレンジし、全問正解した方にオリジナルの缶バッジをプレゼントした。

◎体験コーナー

各種体験コーナーを設置した。

- ①ぬり絵をやってみよう
- ②紋切り(切り紙)をやってみよう
- ③昔の遊びをやってみよう



▲郷土芸能上映会の様子



▲昔のおもちゃで遊ぶ来館者

〔4〕 学校教育関連

1. 文化財めぐり

町教育委員会が、町の歴史への理解を深め、文化財保護意識の高揚を図るために実施した。町内の文化財と郷土資料館を希望校の小学6年生(10クラス275人)と教職員18人が郷土資料館職員の解説を聞きながら見学した。コロナ対策のため、見学箇所を減らし、郷土資料館見学の行程から教室で映像やスライドによる学習に変更して実施した。



▲文化財めぐり「称名寺のシイノキ」



▲教室での映像学習の様子

| 学 校 名 | 学級数 | 見学人数 | 見 学 日 |
|-------|-----|------|---------------------|
| 亙理小学校 | 4 | 136 | 9月4日、10日、11月11日、19日 |
| 荒浜小学校 | 1 | 20 | 9月9日 |
| 長瀬小学校 | 1 | 36 | 11月18日 |
| 逢隈小学校 | 3 | 85 | 10月22日、23日、11月5日 |
| 高屋小学校 | 1 | 16 | 10月29日 |

2. 修学旅行

| 来館日 | 来 館 者 | 来館者数 | 来 館 目 的 |
|--------|--------------|------|------------------|
| 9. 15 | 秋保中学校 3年生 | 34 | 修学旅行見学 |
| 10. 29 | 伊達市光陵中学校 3年生 | 84 | 修学旅行見学(ふるさと姉妹都市) |

3. その他

| 来館日 | 来 館 者 | 来館者数 | 来 館 目 的 |
|-------|--------------|------|-----------------|
| 12. 5 | 東北文化学園大学 1年生 | 15 | 江戸時代の城下町についての講義 |

〔5〕 刊行物等

『郷土しりょうかん』第152号～第155号

広報紙としてA4判4ページ(A3判二つ折)を4・7・10・1月の年4回発行。

※第152号のみA4判2ページ(A4判両面)で発行。

〔6〕 博物館実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月14日(金)～8月19日(水)の5日間

※コロナ禍のため1日短縮して実施



▲実習生による展示ネームの作成

実習生 尚絅学院大学総合人間科学部表現文化学科
 東北学院大学文学部歴史学科
 宮城学院女子大学学芸部人間文化学科 各大学3年生1名ずつ 計3名

実習内容 1日目：ガイダンス、施設の概要説明・見学
 展示について(講話)、文化財保護行政について(講話)
 文化財めぐり、文化財の保護と活用の実際(講話)
 2日目：庶務管理及び運営について(講話)
 埋蔵文化財の取扱いと考古資料の整理・保管について(講話・遺物の整理作業等)
 3日目：文化財の保護と活用の実際(伊達成実霊屋御開帳従事)
 ミニ展示の立案(企画書作成)、常設展示資料のネーム作成(作業)
 4日目：文化財レスキューと被災資料の整理について(講話・くん蒸済資料の整理作業等)
 教育普及活動について(講話、夏休み子ども講座製作物の製作体験・制作指導)
 5日目：資料の収集及び保管について(講話、資料の配架作業等)、作成物検討会
 実習のまとめ

〔7〕 その他

講師派遣

◎亘理町ジュニア・リーダー初級研修
 令和3年3月21日(日) 亘理町立郷土資料館
 講師：班長 武田恵美 「文化・創作活動について」
 ※新型コロナウイルス感染症対策により開催延期

5 資料の収集・保管

〔1〕 収蔵資料

1. 資料内訳

資料点数の()内の数字は令和2年度新規収蔵資料

(1) 考古資料：117点(1)点

常設展示展示資料：114点

※このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。

(2) 歴史民俗資料 4,940(95)品目 13,728(222)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料：1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～令和2年度)の収蔵資料：3,910品目 11,946点

≪平成6～令和2年度収蔵資料分類内訳≫

| 分類項目 | 点数 | 分類項目 | 点数 | 分類項目 | 点数 |
|------------|-------|--------------|-------|-------------|-------|
| 1 衣・食・住 | 1,608 | 7 民俗知識 | 1,876 | 12 亘理伊達家・家中 | 140 |
| 2 生産・生業 | 834 | 8-1 民俗芸能 | 9 | 13 軍事・戦争 | 378 |
| 3 交通・運輸・通信 | 361 | 8-2 競技・娯楽・遊戯 | 1,545 | 14 文書・書籍・地図 | 1,153 |
| 4 交易 | 2,096 | 9 人の一生 | 154 | 15 美術 | 737 |
| 5 社会生活 | 725 | 10 年中行事 | 155 | 16 その他 | 68 |
| 6 信仰 | 105 | 11 口承伝承 | 2 | | |

- (3) 写真・映像等資料 556(9)品目 1,169(27)点
 写真：501品目855点(24) 映像・音声：16品目272点(3) 絵・図：39品目42点
 (4) その他(化石など) 9品目83点
 (5) 教育普及用 4点

2. 寄贈資料

12人 103品目 248点

| No. | 寄贈者名 | 地区 | 主な資料名 | 品目 | 点数 |
|-----|-----------|----------|--------------------|----|----|
| 1 | 菊地 明夫 | 亶理町(中町) | 焙烙、焼き鋺、焼き篋、七輪(鉄製) | 4 | 5 |
| 2 | 目黒 平一郎 | 仙台市 | 折敷、電灯の笠、箆 ほか | 39 | 71 |
| 3 | 佐藤 昭信 | 亶理町(上の町) | 急須、中華井 | 2 | 3 |
| 4 | 清野 武司 | 亶理町(鷺谷) | 近世早見年代記(清野日記) | 1 | 1 |
| 5 | 齋 清文 | 亶理町(早川) | 逢隈中学校校章、瓦、ハーモニカ ほか | 30 | 79 |
| 6 | 齋 精 | 亶理町(早川) | 亶理郡臥牛館之図(複製) | 1 | 1 |
| 7 | 山田 勝徳 | 亶理町(下茨田) | 新庁舎落成記念手拭 | 1 | 1 |
| 8 | 鈴木 光範 | 亶理町(柴町) | 上棟枅、蒸籠 | 2 | 2 |
| 9 | 柴町念仏講 | | 念仏講用具 | 1 | 1 |
| 10 | 佐々木 正弘 | 仙台市 | 長瀬尋常小学校学校家庭通信簿 ほか | 20 | 80 |
| 11 | 安田 齋宮 | 亶理町(下郡) | 亶理町逢隈地区 | 1 | 1 |
| 12 | 亶理枅取り舞保存会 | | DVD(あったかフェスタ ほか) | 1 | 3 |

3. 採集資料

1品目 1点 アベノマスク

〔2〕 寄託資料

| | |
|------------------------|--------------|
| 亶理忠儀記(亶理町指定文化財) | 上町 菊地家 所蔵 |
| 伊達政宗書状(伊達宗実あて)ほか 2点 | 武田信一・厚志 氏 所蔵 |
| 額入資料3点・木箱資料32点・袋入資料78点 | 岡元継男 氏 所蔵 |
| 脇差1点・刀1点 | 東條勝雄 氏 所蔵 |
| 刀2点 | 武者 司 氏 所蔵 |
| 幣帛覚帳3点・取子人名記1点 | 陰山俊明 氏 所蔵 |
| 享保雛1対・脚付膳2点ほか 41点 | 山形節子 氏 所蔵 |
| 伊達政宗書状 五郎(伊達成実)宛て | 個人 所蔵 |

〔3〕 常設展示借用資料

| No. | 資料名 | 所有者名 | 数量 | 借用期間 | 借用理由 |
|-----|-------|------|-----|----------|------------------|
| 1 | 志賀家文書 | 志賀道義 | 378 | H5.7.18～ | 亶理伊達家コーナー展示、調査研究 |

〔4〕 資料貸出

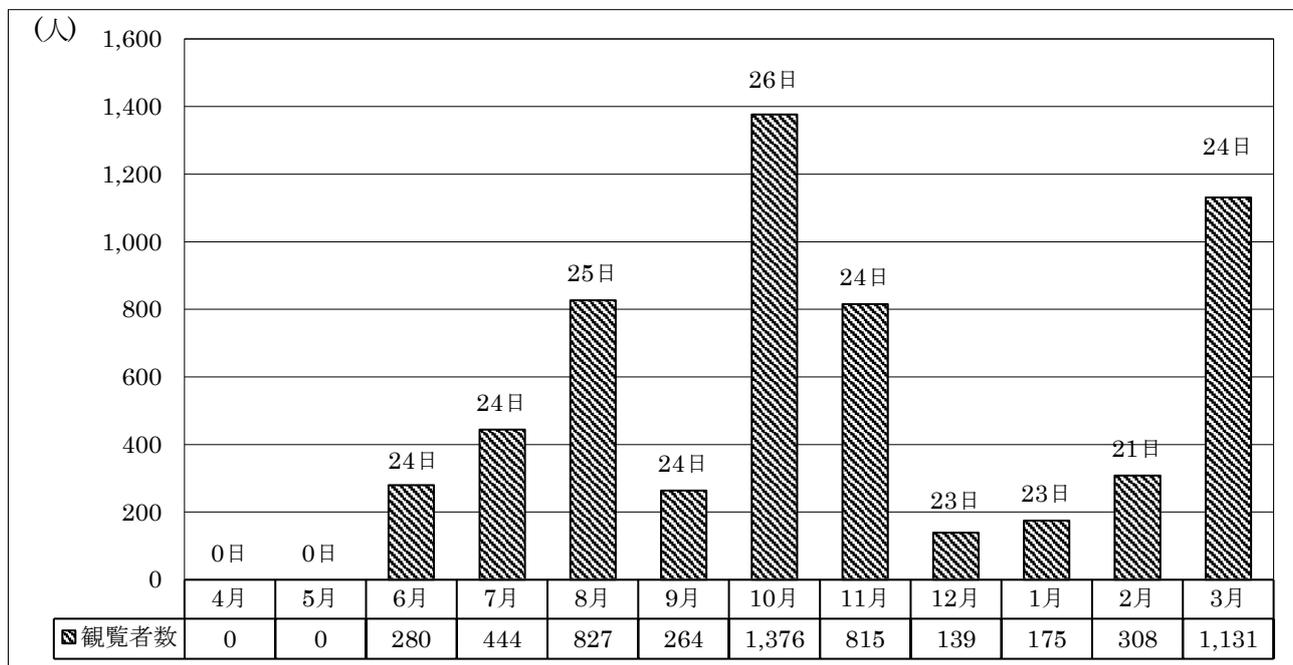
15件 25点

| No. | 貸出先 | 目的 | 資料名 | 貸出日・期間 |
|-----|--------------------|--------------------------|-------------------------|-------------|
| 1 | 荒浜小学校 | 社会科授業での参考資料 | 縄文土器ほか 7点 | 6.25～6.27 |
| 2 | 株式会社吉川弘文館 | 出版物への掲載で使用 | 伊達成実公木像写真 1点 | 7.14 |
| 3 | 株式会社 ミヤギテレビサービス | 「OH!バンデス」 番組内で使用 | 伊達成実公霊屋写真ほか 2点 | 7.29 |
| 4 | 個人 | 研究課題で写真撮影 | 岩石写真 1点 | 8.11 |
| 5 | 個人 | 宿題で写真撮影 | 手押除草機写真 1点 | 8.14 |
| 6 | 大雄寺 | チラシへの掲載で使用 | 伊達成実公霊屋御開帳写真 1点 | 8.23 |
| 7 | 個人 | 論文発表の講義において 参考資料として使用 | 居久根写真 2点 | 9.29 |
| 8 | 株式会社 宮城テレビ放送 | 番組内で使用 | 伊達成実公霊屋写真パネルほか 3点 | 10.8 |
| 9 | 亘理保育所 | 稲の脱穀で使用 | 足踏み脱穀機 1点 | 10.20～10.21 |
| 10 | 亘理郵便局 | オリジナルフレーム切手 の台紙に使用 | 伊達成実公霊屋御開帳写真 1点 | 10.27 |
| 11 | 株式会社仙台放送 | 「あらあらかしこ」 番組内で使用 | 常設・企画展示室の写真 1点 | 11.3 |
| 12 | 個人 | 学術論文作成で写真撮影 | 清野日記及び関連文書の写真 1点 | 11.4 |
| 13 | 亘理町社会福祉協議会 | 子ども食堂わたりんりんで使用 | プロローグDVD「わたしたちのまち亘理」 1点 | 12.1～12.15 |
| 14 | 松山ふるさと歴史館 | 企画展で使用 | 手桶写真 1点 | 12.12 |
| 15 | 個人 | 趣味 | 亘理音頭レコード 1点 | R3.2.9～2.19 |

6 観覧者数の推移

〔1〕 令和2年度月別観覧者数

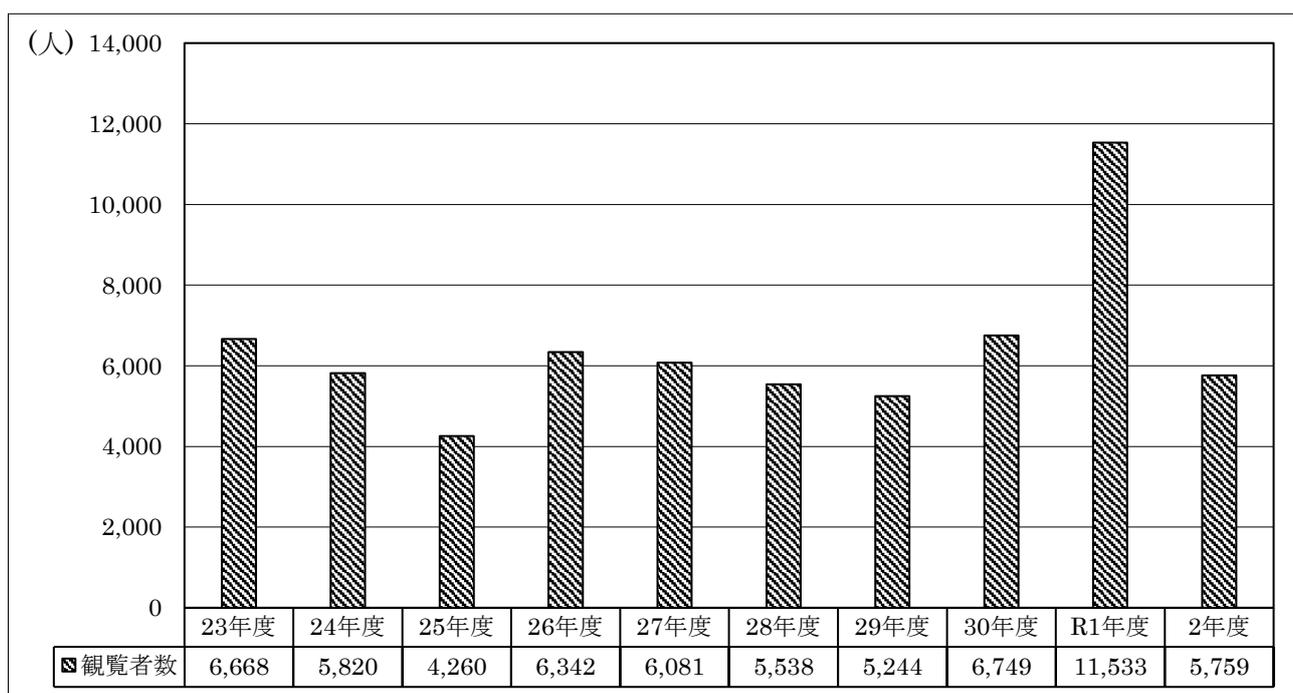
総観覧者数：5,759人（開館日数：238日 1日平均25人）



〔2〕 年度別観覧者数

開館からの観覧者累計：208,772人

平成23年度～令和2年度観覧者数の推移



7 予算

郷土資料館費

予算額 5,159,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

8 職員名簿

【令和2年4月1日～令和3年3月31日】

| 職名 | 氏名 | 就任期間 | 備考 |
|-------|------|--------------------------|-----|
| 館長 | 齋藤伸 | R 2. 4. 1 ~ R 3. 3. 31 | |
| 文化財班長 | 武田恵美 | H 24. 4. 1 ~ R 3. 3. 31 | 学芸員 |
| 主幹 | 鈴木朋子 | H 18. 10. 1 ~ R 3. 3. 31 | 学芸員 |
| 主事 | 橋本和樹 | R 1. 10. 1 ~ R 3. 3. 31 | |

9 利用案内

〔1〕 開館時間

午前9時から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)

〔2〕 休館日

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日(一部特別開館日を除く)
- ・館内整理日(毎月最終金曜日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)

〔3〕 観覧料

- ・常設展示 無料(平成31年4月2日～)
- ・特別展示等 1,000円以内でそのつど定めた額

〔4〕 位置図



巨理町立郷土資料館年報 第23号

令和2年度

令和3年7月発行

編集・発行 巨理町立郷土資料館

〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字西郷140番地

TEL (0223) 34-8701

FAX (0223) 34-8709

E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp
